

デーヴォ ガイド



2022.4.18-24

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(2~3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?)1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか?)

④この世にあって何を実践しますか?



8:1 アルタシャスタ王の治世に、バビロンから私といっしょに上って来た一族のかしらとその系図の記載は次のとおりである。

8:2 ピネハス族からはゲルショム。イタマル族からはダニエル。ダビデ族からは、ハトシュ。

8:3 ハトシュはシェカヌヤの孫。パルオシュ族からは、ゼカリヤと、系図に載せられた同行の者、男子百五十名。

8:4 バハテ・モアブ族からは、ゼラヘヤの子エルエホエナイと、同行の男子二百名。

8:5 ザト族からは、ヤハジエルの子シェカヌヤと、同行の男子三百名。

8:6 アディン族からは、ヨナタンの子エベデと、同行の男子五十名。

8:7 エラム族からは、アタルヤの子エシャヤと、同行の男子七十名。

8:8 シェファテヤ族からは、ミカエルの子ゼバデヤと、同行の男子八十名。

8:9 ヨアブ族からは、エヒエルの子オバデヤと、同行の男子二百十八名。

8:10 バニ族からは、ヨシフヤの子シェロミテと、同行の男子百六十名。

8:11 ベバイ族からは、ベバイの子ゼカリヤと、同行の男子二十八名。

8:12 アズガデ族からは、カタンの子ヨハナンと、同行の男子百十名。

8:13 アドニカム族からの者は最後の者たちで、その名はエリフェレテ、エイエル、シェマヤ、および彼らと同行の男子六十名。

8:14 ビグワイ族からは、ウタイとザクルと、同行の男子七十名。

8:15 私はアハワに流れる川のほとりに彼ら

を集め、私たちはそこに三日間、宿営した。私はそこに、民と祭司たちとを認めたが、レビ人をひとりも見つけることができなかった。

8:16 それで、私はかしらのエリエゼル、アリエル、シェマヤ、エルナタン、ヤリブ、エルナタン、ナタン、ゼカリヤ、メシュラムと、教師エホヤリブ、エルナタンを呼び集め、

8:17 彼らをカシフヤ地方のかしらイドのもとに遣わした。私は彼らにことばを授けて、私たちの神の宮に仕える者たちを連れて来るように、カシフヤ地方にいるイドとその兄弟の宮に仕えるしもべたちに命じた。

8:18 私たちの神の恵みの御手が私たちの上にあったので、彼らはイスラエルの子、レビの子、マフリの子孫のうちから思慮深い人、シェレベヤと、その子たち、およびその兄弟たち十八名を私たちのところに連れて来た。

8:19 また、ハシャブヤとともに、メラリの子孫のうちからエシャヤと、その兄弟と、その子たち二十名、

8:20 および、ダビデとつかさたちにより、レビ人に奉仕するよう任命されていた宮に仕えるしもべたちのうちから、二百二十名の宮に仕えるしもべたちを連れて来た。これらの者はみな、指名された者であった。

これらはエズラとともに第二次帰還者として、エルサレムに赴いた人々です。一度目は何かの理由で行けなくても、愛の主は再度チャンスを与えてくださるのです。主の戦いのために遅れを取ったと後悔するよりも、今方向を変えて戦いの仲間に加わりましょう。

エズラはその中から役に立つものたちを選みました。主の役に立つチャンスはいつでも開かれています。主のために決断できるものたちでチームを作るなら、そらは大きな力であり、主の栄光となります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



8:21 そこで、私はその所、アハワ川のほとりで断食を布告した。それは、私たちの神の前でへりくだり、私たちのために、私たちの子どもたちと、私たちのすべての持ち物のために、道中の無事を神に願い求めるためであった。

8:22 私は道中の敵から私たちを助ける部隊と騎兵たちを王に求めるのを恥じたからである。私たちは、かつて王に、「私たちの神の御手は、神を尋ね求めるすべての者の上に幸いを下し、その力と怒りとは、神を捨てるすべての者の上に下る。」と書いていたからである。

8:23 だから、私たちはこのことのために断食して、私たちの神に願い求めた。すると神は私たちの願いを聞き入れてくださった。

8:24 私は祭司長たちのうちから十二人、すなわち、シェベヤとハシャブヤ、および彼らの同僚十人を選び出し、

8:25 王や、議官たち、つかさたち、および、そこにいたすべてのイスラエル人がささげた、私たちの神の宮への奉納物の銀、金、器類を量って彼らに渡した。

8:26 私は銀六百五十タラント、また、百タラント相当の銀の器類、および、金百タラントを量って彼らに渡した。

8:27 それにまた、一千ダリク相当の金の鉢二十。また、金のように高価な、光り輝くみごとな青銅の器類二個を彼らに渡した。

8:28 ついで、私は彼らに言った。「あなたがたは主の聖なるものである。この器類も聖なるものとされている。この銀と金は、あなたがたの父祖の神、主への進んでささげるささげ物である。

8:29 あなたがたは、エルサレムの主の宮の部屋で、祭司長たち、レビ人たち、イスラエルの一族の長たちの前で量るまで、寝ずの番をして守りなさい。」

8:30 祭司とレビ人たちは、その銀、金、器類を、エルサレムの私たちの神の宮に持つて行くために、量って、受け取った。

8:31 私たちはエルサレムに行こうと、第一の月の十二日にアハワ川を出発した。私たちの神の御手が私たちの上であって、その道中、敵の手、待ち伏せする者の手から、私たちを救い出してくださいました。

8:32 こうして、私たちはエルサレムに着いて、そこに三日間とどまった。

8:33 四日目に銀と金と器類が、私たちの神の宮の中で量られ、ウリヤの子の祭司メレモテの手に渡された。彼とともにピネハスの子エルアザルがおり、彼らとともにレビ人であるヨシュアの子エホザバデと、ビヌイの子ノアデヤがいた。

8:34 全部が数えられ、量られた。そのとき、全重量が書き留められた。

8:35 捕囚の人々で、捕囚から帰って来た者は、イスラエルの神に全焼のいけにえをささげた。すなわち、イスラエル全体のために雄牛十二頭、雄羊九十六頭、子羊七十七頭、罪のためのいけにえとして雄やぎ十二頭をささげた。これはすべて主への全焼のいけにえであった。

8:36 それから、彼らは王の命令書を、王の太守たちと、川向こうの総督たちに渡した。この人たちは、この民と神の宮とに援助を与えた。

ラはそれまで皆と共有してきた信仰を貫きました。盗賊もいるであろう行程で、多くの財宝を持ち砂漠を通る旅に護衛を付けなかったのです。それは主への信頼を表すためであり、信仰の一致を強固なものにするためです。主は断食による熱心な祈りに答えてくださいました。私たちも主の栄光と証のために、必要とあれば信仰を大いに表しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？





9:1 これらのことが終わって後、つかさたち私が私のところに近づいて来て次のように言った。「イスラエルの民や、祭司や、レビ人は、カナン人、ヘテ人、ペリジ人、エブス人、アモン人、モアブ人、エジプト人、エモリ人などの、忌みきらうべき国々の民と縁を絶つことなく、

9:2 かえて、彼らも、その息子たちも、これらの国々の娘をめとり、聖なる種族がこれらの国々の民と混じり合ってしまった。しかも、つかさたち、代表者たちがこの不信の罪の張本人なのです。」

9:3 私はこのことを聞いて、着物と上着を裂き、髪の毛とひげを引き抜き、色を失ってすわってしまった。

9:4 捕囚から帰って来た人々の不信の罪のことで、イスラエルの神のことは恐れている者はみな、私のところに集まって来た。私は夕方の方のささげ物の時刻まで、色を失ってじっとすわっていた。

9:5 夕方の方のささげ物の時刻になって、私は気を取り戻し、着物と上着を裂いたまま、ひざまずき、私の神、主に向かって手を差し伸ばし、祈って、

9:6 言った。「私の神よ。私は恥を受け、私の神であるあなたに向かって顔を上げるのも恥ずかしく思います。私たちの咎は私たちの頭より高く増し加わり、私たちの罪過は大きく天にまで達したからです。

9:7 私たちの先祖の時代から今日まで、私たちは大きな罪過の中にありました。私たちのその咎のため、私たちや、私たちの王、祭司たちは、よその国々の王たちの手に渡され、

剣にかけられ、とりこにされ、かすめ奪われ、恥を見せられて、今日あるとおりです。

9:8 しかし、今、しばらくの間、私たちの神、主のあわれみによって、私たちに、のがれた者を残しておく、私たちのためにご自分の聖なる所の中に一つの釘を与えてくださいました。これは、私たちの神が私たちの目を明るくし、奴隷の身の私たちをしばらく生き返らせてくださるためでした。

9:9 事実、私たちは奴隷です。しかし、私たちの神は、この奴隷の身の私たちを見捨てることなく、かえて、ペルシヤの王たちによって、私たちに恵みを施し、私たちを生かして、私たちの神の宮を再建させ、その廃墟を建て直させ、ユダとエルサレムに石垣を下さいました。

9:10 今、こうなつてからは、何と申し上げたらよいのでしょうか。私たちの神よ。私たちはあなたの命令を捨てたからです。

9:11 あなたは、あなたのしもべ、預言者たちによって、こう命じておられました。

『あなたがたが、はいつて行って所有しようとしている地は、その国々の民の、忌みきらうべき行ないによって汚された汚らしい地であり、その隅々まで、彼らの汚れで満たされている。

9:12 だから、今、あなたがたの娘を彼らの息子にとつがせてはならない。また、彼らの娘をあなたがたの息子にめとってはならない。永久に彼らの平安も、しあわせも求めてはならない。そうすれば、あなたがたは強くなり、その地の良い物を食べ、これを永久にあなたがたの子孫のために所有することができる。』と。

9:13 私たちの悪い行ないと、大きな罪過の

ために、これらすべてのことが私たちの上に起こって後、・・・事実、私たちの神、あなたは、私たちの咎の受けるべき刑罰よりも軽く罰し、このようにのがれた者を私たちに残してくださいました。・・・9:14 私たちは再び、あなたの命令を破って、忌みきらうべき行ないをするこれらの民と互いに縁を結んでよいのでしょうか。あなたは私たちを怒り、ついには私たちを絶ち滅ぼし、生き残った者も、のがれた者もいないようにされるのではないのでしょうか。

9:15 イスラエルの神、主。あなたは正しい方です。まことに、今日あるように、私たちは、のがれた者として残されています。ご覧ください。私たちは罪過の中であなたの御前におります。このような状態で、だれもあなたの御前に立つことはできないのに。」

結婚は信仰にとって決定的な影響を持ちます。みこころをきよく行い、時にはエズラのようにとりなし回復させる者でありましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



10:1 エズラが神の宮の前でひれ伏し、涙ながらに祈って告白しているとき、イスラエルのうちから男や女や子どもの大集団が彼のところに集まって来て、民は激しく涙を流して泣いた。

10:2 そのとき、エラムの子孫のひとりエヒエルの子シェカヌヤが、エズラに答えて言った。「私たちは、私たちの神に対して不信の罪を犯し、この地の民である外国の女をめとりました。しかし、このことについては、イスラエルに、今なおお望みがあります。

10:3 今、私たちは、私たちの神に契約を結び、主の勧告と、私たちの神の命令を恐れる人々の勧告に従って、これらの妻たちと、その子どもたちをみな、追い出しましょう。律法に従ってこれを行ないましょう。

10:4 立ち上がってください。このことはあなたの肩にかかっています。私たちはあなたに協力します。勇気を出して、実行してください。」

10:5 そこで、エズラは立ち上がり、祭司や、レビ人や、全イスラエルのつかさたちに、この提案を実行するように誓わせたので、彼らは誓った。

10:6 エズラは神の宮の前を去って、エルヤシブの子ヨハナンの部屋に行き、パンも食わず、水も飲まずにそこで夜を過ごした。捕囚から帰って来た人々の不信の罪を嘆き悲しんでいたからである。

10:7 そこで、彼らは、捕囚から帰って来た者はみなエルサレムに集合するようにと、ユダとエルサレムにおふれを出した。

10:8 それには、つかさたちや長老たちの勧告

に従って、三日のうちに店頭しない者はだれでも、その全財産は聖絶され、その者は、捕囚から帰って来た人々の集団から切り離されることになっていた。

10:9 それで、ユダとベニヤミンの男はみな、三日のうちに、エルサレムに集まって来た。それは第九の月の二十日であった。こうして、すべての民は神の宮の前の広場にすわり、このことと、大雨のために震えていた。

10:10 祭司エズラは立ち上がって、彼らに言った。「あなたがたは、不信の罪を犯した。外国の女をめとって、イスラエルの罪過を増し加えた。

10:11 だから今、あなたがたの父祖の神、主に告白して、その御旨にかなったことをしなさい。この地の民と、外国の女から離れなさい。」

10:12 全集団は大声をあげて答えて言った。「必ずあなたの言われたとおりにします。

10:13 しかし、民は大ぜいであり、また、大雨の季節ですから、私たちは外に立っていることができません。しかも、これは一日や二日の仕事でもありません。このことでは、私たちの多くの者がそむいているのですから。

10:14 私たちのつかさたちは全集団に代わって、ここにとどまっていたきたい。そして、私たちの町で外国の女をめとった者がみな、定まった時に、それぞれの町の長老たちとさばきつかさたちといっしょに出て来るようにしていただきたい。そうすれば、このことについての私たちの神の燃える怒りは、私たちから遠ざかるでしょう。」

10:15 アサエルの子ヨナタンとティクワの子ヤフゼヤだけは、メシュラムとレビ人シャ

ベタイの支持を得て、これに反対したが、

エズラの熱心な祈りで民は悔い改めました。悔い改めには行動が伴わなければなりません。民は結婚をきよめ、異教から離れる決心をしました。ただしその実行は簡単ではありませんでした。しかしそれも曖昧にせず、現実的に方策を立てて実行したのです。

熱心な祈りと、実行を伴う悔い改めによって前進しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？





10:16 捕囚から帰って来た人々は、その提案どおりにした。祭司エズラは、彼らの一族のために、一族のかしらのある者たちをみな、名ざして選び出した。こうして、彼らはこのことを調べるために、第十の月の一日に会議を始め、

10:17 第一の月の一日までに、外国の女をめとった男たちについて、みな調べ終えた。

10:18 祭司の子らのうちで、外国の女をめとった者がわかったが、それはエホツァダクの子ヨシュアの子たちと、その兄弟たちのうちから、マアセヤ、エリエゼル、ヤリブ、ゲダルヤであった。

10:19 彼らはその妻を出すという誓いをして、彼らの罪過のために、雄羊一頭を罪過のためのいけにえとしてささげた。

10:20 イメル族のうちでは、ハナニとゼバデヤ。

10:21 ハリム族のうちでは、マアセヤ、エリヤ、シェマヤ、エヒエル、ウジヤ。

10:22 パシュフル族のうちでは、エルヨエナイ、マアセヤ、イシュマエル、ネタヌエル、エホザバデ、エルアサ。

10:23 レビ人のうちでは、エホザバデ、シムイ、ケラヤ・すなわちケリタ・・・、ペタヘヤ、ユダ、エリエゼル。

10:24 歌うたいのうちでは、エルヤシブ。門衛のうちでは、シャルム、テレム、ウリ。

10:25 一般のイスラエル人のうち、パルオシュ族のうちでは、ラムヤ、イジヤ、マルキヤ、ミヤミン、エルアザル、マルキヤ、ベナヤ。

10:26 エラム族のうちでは、マタヌヤ、ゼカ

リヤ、エヒエル、アブディ、エレモテ、エリヤ。

10:27 ザト族のうちでは、エルヨエナイ、エルヤシブ、マタヌヤ、エレモテ、ザバデ、アジザ。

10:28 ベバイ族のうちでは、ヨハナン、ハナヌヤ、ザバイ、アテライ。

10:29 バニ族のうちでは、メシュラム、マルク、アダヤ、ヤシュブ、シェアル、ラモテ。

10:30 パハテ・モアブ族のうちでは、アデナ、ケラル、ベナヤ、マアセヤ、マタヌヤ、ベツアルエル、ビヌイ、マナセ。

10:31 ハリム族のうちでは、エリエゼル、イシヤ、マルキヤ、シェマヤ、シメオン、

10:32 ベニヤミン、マルク、シェマルヤ。

10:33 ハシュム族のうちでは、マテナイ、マタタ、ザバデ、エリフェレテ、エレマイ、マナセ、シムイ。

10:34 バニ族のうちでは、マアダイ、アムラム、ウエル、

10:35 ベナヤ、ベデヤ、ケルフ、

10:36 ワヌヤ、メレモテ、エルヤシブ、

10:37 マタヌヤ、マテナイ、ヤアサイ。

10:38 ビヌイ族のうちでは、シムイ、

10:39 シエレムヤ、ナタン、アダヤ、

10:40 マクナデバイ、シャシャイ、シャライ、

10:41 アザルエル、シェレムヤ、シェマルヤ、

10:42 シャルム、アマルヤ、ヨセフ。

10:43 ネボ族のうちでは、エイエル、マティテヤ、ザバデ、ゼビナ、ヤダイ、ヨエル、ベナヤ。

10:44 これらの者はみな、外国の女をめとった者である。彼らの妻たちのうちには、すでに子どもを産んだ者もいた。

神殿の再建はすばらしい喜びですが、その祝福も神様がみわざを行ってこそです。そこで、祭司が異邦の女性を結婚するということは、異教の宗教に妥協していることを表しますから、それを正さなければなりません。エズラ記の最後がこの記事であることは重要です。

本当の喜びは主のみこころにかなっているということであると知りましょう。見えるところが整うなら、それ以上にみこころを行う当面で整えていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたその部分の主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



1:1 宣告。マラキを通してイスラエルにあった主のことは。

1:2 「わたしはあなたがたを愛している。」と主は仰せられる。あなたがたは言う。「どのように、あなたが私たちを愛されたのですか。」と。「エサウはヤコブの兄ではなかったか。・・主の御告げ。・・わたしはヤコブを愛した。」

1:3 わたしはエサウを憎み、彼の山を荒れ果てた地とし、彼の継いだ地を荒野のジャッカルのものとした。」

1:4 たといエドムが、「私たちは打ち砕かれた。だが、廢墟を建て直そう。」と言っても、万軍の主はこう仰せられる。「彼らは建てるが、わたしは打ちこわす。彼らは、悪の国と言われ、主のとこしえにのろう民と呼ばる。」

1:5 あなたがたの目はこれを見て言おう。「主はイスラエルの地境を越えて偉大な方だ。」と。

このマラキ書が書かれたのは、紀元前400年よりも少し前であると思われる。その前にイスラエルは（分裂した南のユダも）律法に従いきれずに、預言の通りに他国から侵略されて、捕囚となってバビロニアなどに奴隷状態で連れられていきました。その後、エズラやゼルバベルの指導によって神殿を再建することができ、またネヘミの指導によって城壁が再建できました。

このようにイスラエルにとって大きな喜びの期間があったにもかかわらず、またそのときに主に従う決心による宗教改革が行われたにも関わらず、その後（すなわちネヘミヤがアルタシャスタ王のもとに帰り不在となった間に）、イスラエルの人々と社会はまたも神様に不従順となってしまいました。

マラキはこれを憂いて神の声を聞いて伝えた預言者です。すなわち一度は神に救われて、神の栄光を見たにも関わらず、不信仰不従順になっている神の民に対して、語っているのです。ですからそれはまさに、現代のクリスチャンも心して聞くべき内容です。

そのイスラエルは、自分が主に聞き従わないのを棚に上げ、または弁解するようにして、「どのように…私たちを愛された」のかと、質問をしています。これは愛されている感覚はないという、否定的なものです。

それに対して神様は、ご自身の絶対的な主権による愛を強調なさいます。この世のどんな理由や状況にも左右されなくて、ただご自身の決定権だけが生きるというものです。

私たちも状況や比較によって、神様に愛されているのだろうかと思悩むときがあるかもしれませんが、そのようなときは、自分の不従順な面を吟味しつつ、神様の愛は条件によらずに絶対的なものであるということ、を、強く信じましょう。そしてそこから自己像や人生を考えていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



1:6 「子は父を敬い、しもべはその主人を敬う。もし、わたしが父であるなら、どこに、わたしへの尊敬があるのか。もし、わたしが主人であるなら、どこに、わたしへの恐れがあるのか。・・万軍の主は、あなたがたに仰せられる。・・わたしの名をさげすむ祭司たち。あなたがたは言う。『どのようにして、私たちがあなたの名をさげすみましたか。』と。

1:7 あなたがたは、わたしの祭壇の上に汚れたパンをささげて、『どのようにして、私たちがあなたを汚しましたか。』と言う。『主の食卓はさげすまれてもよい。』とあなたがたは思っている。

1:8 あなたがたは、盲の獣をいけにえにささげるが、それは悪いことではないのか。足なえや病気のものをささげるのは、悪いことではないのか。さあ、あなたの総督のところにそれを差し出してみよ。彼はあなたをよみし、あなたを受け入れるだろうか。・・万軍の主は仰せられる。・・

1:9 さあ、今、恵みを受けるために神に願ってみよ。これはあなたがたの手によることだ。神はあなたがたのうちだれかを、受け入れてくださるだろうか。・・万軍の主は仰せられる。・・

1:10 あなたがたのうちにさえ、あなたがたがわたしの祭壇に、いたずらに火を点ずることがないように、戸を閉じる人は、だれかいないのか。わたしは、あなたがたを喜ばない。・・万軍の主は仰せられる。・・わたしは、あなたがたの手からのささげ物を受け入れない。

1:11 日の出る所から、その沈む所まで、わたしの名は諸国の民の間であがめられ、すべての場所で、わたしの名のために、きよいささげ物がささげられ、香がたかれる。わたしの名が諸国の民の間であがめられているからだ。・・万軍の主は仰せられる。・・

1:12 しかし、あなたがたは、『主の食卓は汚れている。その果実も食物もさげすまれている。』と言って、祭壇を冒瀆している。

1:13 あなたがたはまた、『見よ。なんとうるさいことか。』と言って、それを軽蔑する。・・万軍の主は仰せられる。・・あなたがたは、かすめたもの、足なえのもの、病気のものを連れて来て、ささげ物としてささげている。わたしが、それをあなたがたの手から、喜んで、受け入れるだろうか。・・主は仰せられる。・・

1:14 群れのうちに雄の獣がいて、これをささげると誓いながら、損傷のあるのを主にささげる者はいない。わたしが大いなる王であり、わたしの名が諸国の民の間で、恐れられているからだ。・・万軍の主は仰せられる。・・

神様がイスラエルに求めたささげものは、イエス様ご自身が十字架でささげたことをイメージするのもでもありますから、それは完全なものでなくてはなりません。それが動物であっても同じで、「病気のもの」ではいけなかったのです。

また何よりも、「総督のところ」に差し出すことはばかられるような、欠陥のあるものを神に差し出すというのは、神様を侮っている証拠であると、マラキ書では言っています。

神様の恵みに慣れてしまい、何でも赦されると思っていないでしょうか。人には気をつかいな

がら、主への尊厳を表すのに手を抜いているということはないでしょうか。常に考えてみる必要があります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

